

海を渡った僕のランドセル

中 一

みなさんは「思い出のランドセルギフト」という活動があるのを知っていますか。それは使われなくなったランドセルをアフガニスタンの子供たちに寄贈し、子供たち、主に教育の機会に恵まれない女の子の就学に役立てる活動のことです。

今年、僕のランドセルはアフガニスタンに向けて出発しました。僕のランドセルは、六年前祖母がプレゼントしてくれたものでした。僕は六年間このランドセルと共に小学校に通いました。

最初は、まだ使えるしもったいないなという軽い気持ちからでした。でも調べていくうちに、この活動はランドセルを使ってもらうだけでなく、もっと重要な意味があることがわかりました。

アフガニスタンには、学校に行けない女の子がたくさんいます。日本から贈られたランドセルは、女の子たちが学校へ行くきっかけになります。女の子たちが読み書きができるようになりますと、健康

を守ったり、保健や衛生に関する知識を身につけることができます。ランドセルは大きく光っていて目立ち、今ではその姿が学校へ通う子供たちの象徴となっているそうです。

僕は遠いアフガニスタンの子供たちについて深く考えました。戦争が続き、多くの子供たちは学校にも行けず、行くことさえもあきらめてしまっている現状を、僕たちがランドセルを送ることで少し改善できるのです。たとえ小さな力でも集まれば大きな力になるという言葉の意味が、少しわかったような気がします。僕たちが今できることは、世界の全ての人が平等に教育を受け、安心して暮らせるようにするためにはどうしたらよいか、考え続けることだと思えます。

そして、僕の思い出のランドセルが、遠くはなれた国で、だれかが夢へ向かって進むのに役立つてくれたら、とてもうれしいです。